

平成22年度 佳作提案

1 県の施策に関する提案

特定テーマ：本県のイメージアップ 本県のイメージアップのための草の根PR活動 提案者：市町村課 主任 橋浦 佳世	
提 案 内 容	表 彰 理 由
全職員が、業務で使用する全メールの署名に、「集中PR」用ホームページ（その時期最もPRすべき内容を掲載）のURLを掲載する。 また、職員の名刺の裏面に、年度ごとに最もPRすべき内容を掲載し、全職員がPRを行う。 「集中PR」ホームページや名刺裏面の掲載内容については、各部局から情報収集し、広報連絡会議で決定する。	新たなPRサイト作成については困難性が高いが、既存サイトの活用であれば実現可能な提案。 全てのメールに集中PRホームページアドレスを掲載することや、名刺裏面にPRを掲載することで、職員の本県PR意識の向上が期待できる。

県の農力をフル活用した、茨城都民に対する「茨城居住」の魅力度アップ 提案者：人事課 主任 青木 隆行	
提 案 内 容	表 彰 理 由
TX沿線に新居を構えた茨城都民、特に20～30歳代で新たに家庭を築き、今後長く茨城県民となる人たちに、自宅の庭や市民農園でのわか農業（家庭菜園）の趣味をしっかりとサポートし、茨城生活の良さを充分に感じてもらう。 茨城に来てからのフォローに力を入れ、口コミ的にじわじわと評判をあげ、将来的な茨城県の魅力度向上に役立てる。 （具体の取組） <ul style="list-style-type: none"> ・野菜作りに関して、情報提供やプロが疑問に答えるなどの専用ホームページの運営 ・野菜作り説明会の開催や現地での指導 など 	提案内容は、既に市や民間が中心となっており多くの取組が行われているが、TX沿線において推進している「つくばスタイル」に沿った取り組みであり、今後つくばスタイルの更なる推進をしていく上で業務の参考にできる。

命を大切に作る県庁 提案者：県西県民センター 係長 堀米 喜一	
提 案 内 容	表 彰 理 由
新規採用職員研修科目に普通救命講習の受講を取り入れる。 また、各所属においては、全員受講に取り組む。 1月1日現在の全所属の受講率を茨城県ホームページ上で公表する。	救命措置の技術・経験を持つ者を増加させる提案であり、県民の安全、安心を守るためにも望ましい取組と考えられる。 また、県職員の普通救命講習の高い受講率を公表することで、PR効果も期待できる。 なお、受講方法については、職場と地元消防署及び職場内の職員同士の連携が重要であることから、職場単位での実施が効果的・現実的と考えられる。

茨城県ホームページのトップに、主要観光地までのアクセスマップ等を掲載 提案者：用地課 主任 吉澤 亮子	
提 案 内 容	表 彰 理 由
<p>茨城県のホームページ（トップページ）に、主要観光地等までのアクセスマップなどへのリンクを掲載し、少ないリンクで目的のサイトにつながるようにする。</p> <p>また、携帯電話のサイトには、読み上げてナビできるように、文字での案内を掲載する。</p>	<p>現在もホームページにアクセス数上位5施設の名称を掲出し、詳細情報ページではグーグルマップで施設の位置をわかりやすく説明している。</p> <p>提案は、より行政サービスの向上を図ることができ、かつ実現可能な内容である。</p>

2 事務改善・県民サービスの改善に関する提案

「問い合わせフォーム」の作成及びホームページへの掲載 提案者：竜ヶ崎保健所 主任 山本 哲	
提 案 内 容	表 彰 理 由
<p>各課のホームページに問い合わせ用にメールアドレスを掲載しているが、直接メールアドレスを掲載すると、迷惑メールが来るなど、情報セキュリティ上問題が生じる。</p> <p>そこで、この方法に代え、「問い合わせフォーム」を作成して掲載することとする。</p>	<p>提案内容は、迷惑メールの受信によるサーバ負荷や、不正なサイトへの接続を回避でき、ネットワークセキュリティを確保する上で高い効果が期待できる。</p> <p>また、特段の経費負担を伴わずに実現できる提案である。</p>